



Color & Comfort by Chemistry

株主のみなさまへ

第116期 報告書 平成25年4月1日～平成25年12月31日

A large, artistic graphic of a stack of papers in various colors (black, brown, yellow, orange, red, green, blue, purple) is positioned in the lower half of the page. The papers are fanned out, creating a sense of depth and movement.

DIC株式会社

Color & Comfort by Chemistry

化学で彩りと快適を提案する

Contents

株主のみなさまへ	3
連結業績	4
中期経営計画「DIC105」進捗特集	7
会社概要・株主メモ	10
DIC川村記念美術館のご案内	11

株主のみなさまへ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。新たに株主となられた皆様には、心よりお礼申し上げますとともに、末永くご支援の程お願い申し上げます。

2013年4月よりスタートした中期経営計画「DIC105」では、“STEP BEYOND”一時代を見据え、果敢に踏み出す一をスローガンに、最終年度にあたる2015年度には過去最高益となる営業利益600億円の達成を目指しております。現在この目標を達成すべく、グループの総力を挙げて取り組みを進めております。

さて、「DIC105」の初年度となる当社第116期における営業が平成25年12月31日をもって終了しましたので、ここにその概況をご報告申し上げます。

連結業績のご報告

当社グループを取り巻く事業環境については、米国経済の緩やかな回復傾向が継続する中、欧州でも力強さに欠けるものの、景気持ち直しの兆候がみられました。また、新興国においても、第2四半期以降、中国・インドの成長減速に下げ止まりの兆しがみられました。国内においては、アベノミクスによる円安・株高を背景に自動車産業、土木建築産業を中心に底堅く推移しました。

このような事業環境の中、当連結累計期間の売上高は、7,056億円と前年同期比※12.8%の増収となりました。

営業利益は合理化効果、販売価格の是正、円安の影響などにより402億円と前年同期比※15.5%の増益となりました。

経常利益は、371億円と前年同期比※15.1%の増益となりました。

当期純利益は、268億円と前年同期比※51.6%の増益となりました。

次期の連結業績見通しと配当金

次期の経済状況については、国内においては、消費税率引上げの影響が懸念されるものの年間を通してみれば



持続的な成長が見込まれ、海外においても、米国をはじめ欧州、中国、インドでも緩やかながら持ち直しの動きが見られるなど、徐々に回復力が増していくものと予想されます。このような状況下、中期経営計画「DIC105」の2年目となる第117期は、欧米インキ事業の再構築、成長牽引事業の拡大をはじめとする重点戦略への取り組みを徹底し、高付加価値品の更なる拡販、一層のコスト削減を進め、売上増、営業利益増を見込んでおります。

また、当期の配当については、1株当たり3円の中間配当を実施し、期末配当としても1株当たり3円とすることにいたしました。

次期の配当につきましては、中間配当及び期末配当として、それぞれ1株あたり3円、年間で1株あたり6円を予定しております。当社は、安定した経営基盤の確立を目指すとともに、株主の皆様への利益還元をより充実させていくことを基本方針と考えています。また内部留保資金については、その充実に努めるとともに、企業体質を一層強化することで株主の皆様の将来的な利益拡大に寄与すべく、より有効に使用して参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役
社長執行役員

中西義之

※第116期より決算期を3月31日から12月31日に変更したことにより、前期との比較については、当期連結期間と同一の期間に調整した数値を前期実績とし、調整後の前期実績との対比による増減比を記載しています。

事業セグメント別業績の概況

プリンティングインキ



日本では、グラビアインキの需要が堅調に推移しましたが、オフセットインキ及び新聞インキは、従前からの需要減少傾向が継続していることから減収となりました。北米・欧州においても、パッケージ用インキが堅調に推移しましたが、雑誌や新聞の発行部数減少などにより、出版インキと新聞インキが落ち込み、減収となりました。アジアでは、中国において、グラビアインキが好調に推移しましたが、景気減速の影響などによりオフセットインキおよび新聞インキが落ち込み減収となり、東南アジアにおいては、全品目が堅調に推移し、増収となりました。インドにおいては、景気減速の影響により、主にオフセットインキ、グラビアインキが苦戦を強いられ、減収となりました。以上の結果、全体として現地通貨ベースでは減収となりましたが、円安の影響により、増収となりました。

営業利益は、同様に現地通貨ベースでは減益となりましたが、円安の影響により増益となりました。

ファインケミカル



有機顔料は、国内ではインキ用、塗料・プラスチック用やカラーフィルター用が、欧米では塗料・プラスチック用やインキ用が、各々好調に推移し、国内外で増収となりました。TFT液晶は、新規ユーザーへの出荷が大きく伸びたものの、既存ユーザーへの出荷が減少したことなどにより、若干の減収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、増益となりました。

ポリマ



国内では、塗料用樹脂およびエポキシ樹脂が、主に土木・建築向けに好調に推移し、また、ポリスチレンは拡販が奏功し、各々増収となりました。不飽和ポリエステルは、国内関連会社が10月から連結対象になったことにより増収となりました。海外では、主に中国および東南アジア子会社の健闘などにより、増収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、品目構成の悪化などにより、減益となりました。

アプリケーションマテリアルズ



機能性光学材料は、需要減少の影響を受けて落ち込みましたが、PPSコンパウンドは、自動車関連用途が好調に推移したこと、工業用粘着テープは主にスマートフォン向けに出荷が拡大したこと、インクジェットインキはシェアが拡大したことなどから、各々増収となりました。以上の結果、円安の影響もあり、全体としては増収となりました。

営業利益は、品目構成の改善などにより、増益となりました。

連結グループネットワーク

プリンティングインキ 106社

DICグラフィックス株式会社
Sun Chemical Group Cooperatief U.A.
南通迪愛生色料有限公司
DIC India Ltd.
DIC Australia Pty Ltd.
DIC (Malaysia) Sdn. Bhd.
上海DIC油墨有限公司
他99社

ファインケミカル 7社

連雲港迪愛生色料有限公司
他6社

ポリマ 24社

星光PMC株式会社
ディーエイチ・マテリアル株式会社
DIC北日本ポリマ株式会社
DIC九州ポリマ株式会社
Siam Chemical Industry Co., Ltd.
常州華日新材有限公司
迪愛生合成樹脂(中山)有限公司
張家港迪愛生化工有限公司
DIC Performance Resins GmbH
他15社

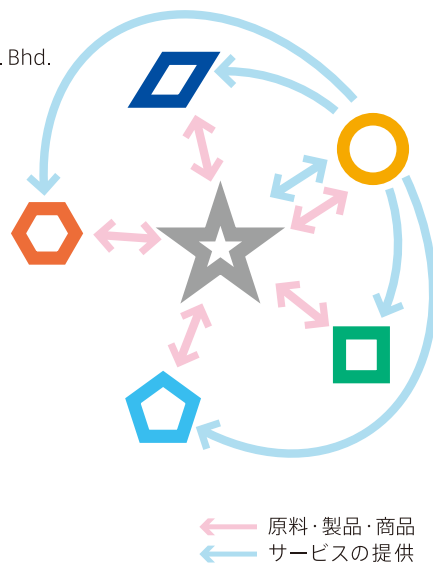
アプリケーションマテリアルズ 24社

DIC EP株式会社
DICプラスチック株式会社
DIC化工株式会社
DICフィルテック株式会社
株式会社不二レーベル
DIC Compounds (Malaysia) Sdn. Bhd.
上海迪愛生膠粘材料有限公司
他17社

その他 15社

DIC Asia Pacific Pte Ltd
迪愛生投資有限公司
青島迪愛生精細化学有限公司
他12社

★ DIC 株式会社



セグメント情報

■売上高

(単位:億円)

	2012年度 年間実績 (調整後)	2013年度 年間実績	前期比(%)
プリンティングインキ	3,339	3,736	+11.9%
ファインケミカル	965	1,169	+21.1
ポリマ	1,238	1,412	+14.0%
アプリケーションマテリアルズ	1,026	1,052	+2.5%
その他	28	23	△17.9%
全社・消去	△342	△336	—
連結合計	6,254	7,056	+12.8%

■営業利益

(単位:億円)

	2012年度 年間実績 (調整後)	2013年度 年間実績	前期比(%)
プリンティングインキ	149	184	+23.8%
ファインケミカル	103	114	+10.7%
ポリマ	98	92	△5.7%
アプリケーションマテリアルズ	40	61	+52.4%
その他	△10	△14	—
全社・消去	△32	△35	—
連結合計	348	402	+15.5%

※第116期より決算期を3月31日から12月31日に変更したことにより、前期との比較については、当期連結期間と同一の期間に調整した数値を前期実績として記載し、調整後の前期実績との対比による増減比を記載しています。

連結業績

連結財務諸表等

連結貸借対照表(要約)

平成25年12月31日現在

(単位:億円)

科目	金額	科目	金額
現金・預金	156	支払手形・買掛金	1,160
受取手形・売掛金	2,128	短期借入金(含む長借1年以内・CP)	855
たな卸資産	1,458	その他の流動負債	767
その他の流動資産	165	流動負債 合計	2,782
流動資産 合計	3,908	長期借入金・社債	2,137
有形固定資産	2,338	その他の固定負債	509
無形固定資産	156	固定負債 合計	2,645
投資その他の資産	1,216	負債 合計	5,427
固定資産 合計	3,709	株主資本:	
		資本金	912
		資本剰余金	888
		利益剰余金	892
		自己株式	△ 9
		その他の包括利益累計額:	
		為替換算調整勘定	△ 400
		その他	△ 329
		少数株主持分	237
		純資産 合計	2,189
資産 合計	7,617	負債及び純資産合計	7,617

連結損益計算書(要約)

平成25年4月1日～平成25年12月31日まで

(単位:億円)

科目	金額
売上高	7,056
売上原価	5,580
販売費及び一般管理費	1,074
営業利益	402
金融収支	△ 45
持分法による投資利益	19
為替差損益	△ 6
その他	1
経常利益	371
特別利益	114
特別損失	△ 84
税金等調整前当期純利益	401
法人税等	△ 116
少数株主利益	△ 17
当期純利益	268

連結キャッシュフロー計算書(要約)

平成25年4月1日～平成25年12月31日まで

(単位:億円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 98
フリーキャッシュ・フロー	240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 328
現金及び現金等価物に係る換算差額	12
現金及び現金等価物の増減額	△ 75
現金及び現金等価物の期首残高	225
現金及び現金等価物の期末残高	150

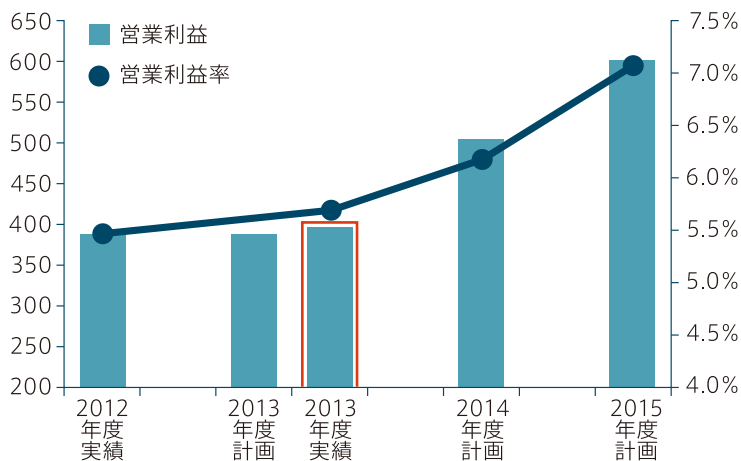
財務ハイライト

中期経営計画の第一年目となる2013年度決算は、営業利益について計画比103%となり、当期純利益については計画比149%となる大幅達成となりました。またD/Cレシオについては計画最終年度の2015年度に掲げていた58%の目標を、2年前倒して達成しました。引き続き、更なる目標達成に向け果敢に取り組んで参ります。

(単位：億円)

	2012年度 実績	2013年度 計画	2013年度 実績	計画比	2014年度 計画	2015年度 計画	2015年度 成長率 (対2012年度比)
売上高	7,038	7,100	7,057	99%	8,100	8,400	119%
営業利益	385	390	402	103%	500	600	156%
営業利益率	5.5%	5.5%	5.7%	—	6.2%	7.1%	—
経常利益	351	350	371	106%	430	530	151%
当期純利益	191	180	268	149%	245	320	168%
有利子負債	3,156	3,200	2,991	93%	3,000	2,900	92%
純資産	1,607	1,640	2,189	133%	1,860	2,120	132%
D/Cレシオ	66%	66%	58%	—	62%	58%	—

※2013年度の連結決算数値は、決算期の変更により、一部を除く国内会社は2013年4月～12月の9ヶ月間、海外子会社は2013年1月～12月の12ヶ月間を連結対象期間とした、変則決算となっております。

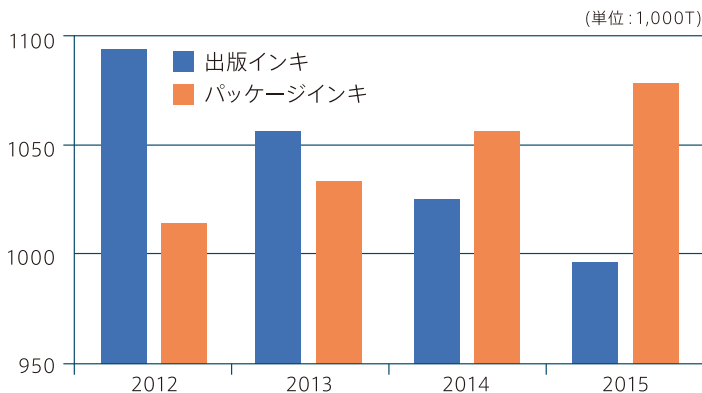


営業利益金額及び、営業利益率の目標を達成

欧米インキ事業再構築

分野別欧米市場動向

出版分野の需要は今後も減少し、パッケージは成長・拡大⇒出版分野は再構築、パッケージ分野は積極投資を実施



※出版インキの市場縮小:3カ年で15%
パッケージインキ拡大:3カ年で6%

具体的施策

出版用インキ

大規模拠点閉鎖を
含む生産統廃合

パッケージ用インキ

欧州・南米の事業体制強化

—— 成長するパッケージインキ分野へのシフトを加速 ——

重点3大事業

	TFT液晶事業	カラーフィルター用有機顔料事業	PPS事業
3ヶ年計画 達成目標 重点施策	<p>【目標・重点施策】</p> <p>■売上規模 2015年度 320億円 2018年度 400億円</p> <p>■市場シェア 2015年度で15% 2018年度で18% (2012年度のシェアは8%程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ユーザー数の拡大 ●新製品の早期上市 	<p>【目標・重点施策】</p> <p>■売上規模 2015年度 ブルー + グリーンで64億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グリーン顔料のデファクトスタンダード化 ●ブルー顔料改良品で継続的にシェア拡大 <p>高輝度・高コントラスト品の市場投入</p>	<p>【目標・重点施策】</p> <p>■市場シェア拡大 2015年度までに25%→30%へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新規設備投資による能力増強 <p>・PPSコンパウンド： 2.7万トン→3.3万トン</p> <p>・ニートレジン： 1.3万トン→1.9万トン</p> <ul style="list-style-type: none"> ●用途拡大
2013年度 成果	<ul style="list-style-type: none"> ●中国新工場の稼働開始 ●新規ユーザーの開拓に成功  	<ul style="list-style-type: none"> ●ブルー顔料シェア倍増 ●グリーン顔料デファクトスタンダード化  	<ul style="list-style-type: none"> ●能力増強完了(オーストリア・鹿島) ●自動車向中心に用途拡大  
2014年度 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●新製品の上市 ●中国市場の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ●グリーン顔料の新規需要獲得 ●多色展開の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバル展開の加速 ●新規用途開拓

会社概要・株主メモ

■会社概要

—平成25年12月31日現在—

商号	DIC株式会社 DIC Corporation
本店	〒174-8520 東京都板橋区坂下三丁目35番58号 電話 03 (3966) 2111
本店事務取扱所	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-101 電話 03 (6733) 3000
創業	明治41年2月15日(1908年)
設立	昭和12年3月15日(1937年)
従業員数	連結20,034名 <単体3,484名>
株式の状況	発行する株式の総数 1,500,000,000株 発行済株式の総数 919,372,048株 株主数 40,936名 1単元の株式の数 1,000株

■株主メモ

第115期定時株主総会において定款一部変更の件が承認され、事業年度が変更されました。

事業年度	1月1日～12月31日(第116期は4月1日～12月31日までの9ヶ月)
定時株主総会	3月
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当受領株主確定日	6月30日(第116期は9月30日)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) TEL 03-6701-5000 (通話料有料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。) URL http://www.dic-global.com/
株主優待制度	毎年12月31日現在の株主名簿記載の1,000株以上ご所有の株主に対し、一律に当社DIC川村記念美術館の「株主ご優待招待券」2枚を贈呈

【ご注意】

- 住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記の特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

DIC川村記念美術館のご案内



DIC川村記念美術館は、当社が関連企業とともに収集してきた美術品を公開するため、千葉県佐倉市の総合研究所に隣接する敷地内に1990年に設立した美術館です。

17世紀のレンブラントから、印象派、エコール・ド・パリ、日本の屏風絵、そして20世紀後半のアメリカ美術まで多彩なコレクションを展示するとともに、収蔵品にちなんだ企画展や話題の展覧会を年に数回開催しています。

2014年の展覧会

コレクション♡リコレクション VOL. 3

開催中—6月29日(日)

山口長男 Takeo YAMAGUCHI

日本の近・現代絵画に偉大な業績を残した山口長男[1902(明治35)-1983(昭和58)]は、東京美術学校を卒業後渡仏、佐伯祐三や荻須高德らとパリで研鑽を積みます。戦後は、黒や茶、黄土色を独自の形態に塗り込めた作品を制作し内外の高い評価を得ています。本展示では、初期作品から代表作に至る油彩8点に加え、水彩や絵付け陶器によって山口長男の芸術を多角的にご紹介します。

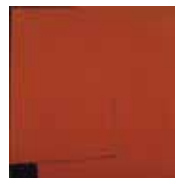
コレクションは語る Words from the Collection

本展ではレンブラント、ルノワール、藤田嗣治などの作品をとりあげ、モデルにまつわるエピソード、制作背景を語る芸術家のエッセイ、作品に捧げられた詩など、作品にまつわるさまざまな言葉をご紹介します。そのほか、作品データを記した「キャプション」を考察するコーナーや、ルイス・キャロルの「不思議の国のアリス」のストーリーに沿って作品を並べた「美術館の国のアリス」など、多様な視点からコレクションと言葉の関係に注目します。

五木田智央 TOMOO GOKITA

8月31日(日) - 12月24日(水)

五木田はこれまで主にイラストの領域で特異な才能を発揮し、90年代以降のサブカルチャー世代に影響を与えてきました。一方で、海外の美術関係者からその芸術的価値が高く評価され、今年1月のニューヨーク、Mary Boone Galleryでの個展では大きな反響を呼ぶまでに成長しました。当館では2012年の企画展において作品12点を紹介し、この度の五木田智央展では未発表最新作とともに、過去10年にわたる多彩な作品群を初めてご紹介します。



山口長男
《襦》1965年
DIC川村記念美術館蔵



ピエール・オーギュスト・ルノワール
《水浴する女》1891年
DIC川村記念美術館蔵



五木田智央
《Slash and Thrust》2008年
個人蔵

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（ただし祝日は開館し、翌平日に休館）、メンテナンス休館（6月30日～8月11日）、年末年始（12月25日～1月1日）

所在地：千葉県佐倉市坂戸631

交通：
・お車で→東関東自動車道「佐倉IC」から約5km、無料駐車場300台完備
・電車+送迎バスで→JR総武本線「佐倉」駅または京成本線「京成佐倉」駅より無料送迎バス（JR佐倉→約20分/京成佐倉駅→約30分）
・高速バスで→東京駅八重洲北口の3番バス乗り場から1日1往復運行、片道約60分

お問い合わせ：展覧会の詳細など、最新情報はホームページでお知らせしております。

URL <http://kawamura-museum.dic.co.jp>

代表電話 0120-498-130（通話料無料・自動音声案内）



<http://www.dic-global.com/>

Color & Comfort by Chemistry

当社の経営ビジョン「Color & Comfort by Chemistry」は、社会に対し、化学で彩りと快適を提案することを示しています。絶えざるイノベーションにより、顧客・社会・地球環境の持続可能な発展に貢献する、新たな価値の創造に全力を傾けてまいります。